

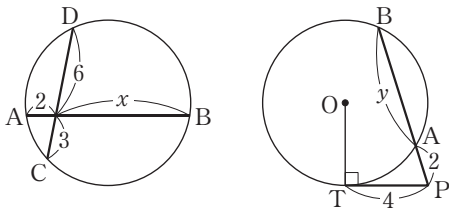
62 方べきの定理

右の図で、点 O は円の中心である。

各図において

$x = \boxed{\text{ア}}$, $y = \boxed{\text{イ}}$

である。



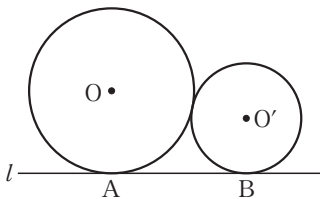
63 共通接線

右の図で、直線 l は円 O , O' とそれぞれ点 A , B で接している。

円 O , O' の半径をそれぞれ 3 , 2 とすると

$AB = \boxed{\text{ア}}\sqrt{\boxed{\text{イ}}}$

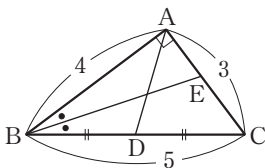
である。



64 三角形の面積と比

右の図の直角三角形 ABC において、辺 BC の中点を D , $\angle B$ の二等分線と辺 AC の交点を E とする。このとき、 $\triangle CDE$ の面積は

$\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}$ である。



65 空間図形

底面が正六角形、側面が長方形である六角柱 $ABCDEF-GHIJKL$ がある。

ただし、なす角は 0° 以上 90° 以下とする。

(1) 直線 AB と直線 HI のなす角は $\boxed{\text{アイ}}$ $^\circ$ である。

(2) 直線 AD と直線 HK のなす角は $\boxed{\text{ウエ}}$ $^\circ$ である。

(3) 面 $ADJG$ と面 $CILF$ のなす角は $\boxed{\text{オカ}}$ $^\circ$ である。

(4) 面 $ABHG$ と面 $DJLF$ のなす角は $\boxed{\text{キク}}$ $^\circ$ である。

